（第1-1号様式）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6 年　 5 月　 31 日

奈良県知事　　殿

提出者

住　所　奈良県吉野郡大淀町桧垣本2214-18

氏　名　株式会社大和建設　代表取締役清水巌一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　 0747-52-9012

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項(奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第５)の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大和建設
事業場の所在地	奈良県吉野郡大淀町桧垣本2214-18
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高　74,755万円
③ 従業員数	27人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→再生処理業者に委託し、燃料チップとして再資源化。 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻→再生処理業者に委託し、再生骨材として再資源化。 ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ殻→再生処理業者に委託し、再生路盤材として再資源化。 廃プラスチック類→優良認定処理業者に委託し、埋立処分。 汚泥→優良認定処理業者に委託し、脱水して埋立処分。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本社（廃棄物処理統括責任者）
↓
工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート殻
排出量	1322 t	93 t
産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	廃プラスチック類
排出量	74 t	26 t
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
排出量	106 t	48 t

（これまでに実施した取組）

コンクリート殻を路盤材として再生利用する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート殻
排出量	1189 t	83 t
産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	廃プラスチック類
排出量	66 t	23 t
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
排出量	95 t	43 t

（今後実施する予定の取組）

前年度の90％に抑えるため、工法の改善を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
木くず、コンクリート殻、ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ殻、廃プラスチック類、管理型混合廃棄物、汚泥はそれぞれ分別し保管場所を明示して保管している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引き続き、木くず、コンクリート殻、ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ殻、廃プラスチック類、管理型混合廃棄物、汚泥はそれぞれ分別し保管場所を明示して保管する。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（　令和5 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t
		（これまでに実施した取組） ―		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t
		（今後実施する予定の取組） ―		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（　令和5 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	― t
		（これまでに実施した取組） ―		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
		（今後実施する予定の取組） ―		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　令和5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組） ―		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組） ―		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（　令和5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート殻
	全処理委託量	1322 t	93 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1322 t	93 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	廃プラスチック類
	全処理委託量	74 t	26 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	26 t
	再生利用業者への処理委託量	74 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	全処理委託量	106 t	43 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	43 t
	再生利用業者への処理委託量	106 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート殻
		全処理委託量	1189 t	83 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	1189 t	83 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	廃プラスチック類
		全処理委託量	66 t	23 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	23 t
		再生利用業者への処理委託量	66 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
		全処理委託量	95 t	43 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	43 t
		再生利用業者への処理委託量	95 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 委託先処理業者の定期的実地確認の実施。		